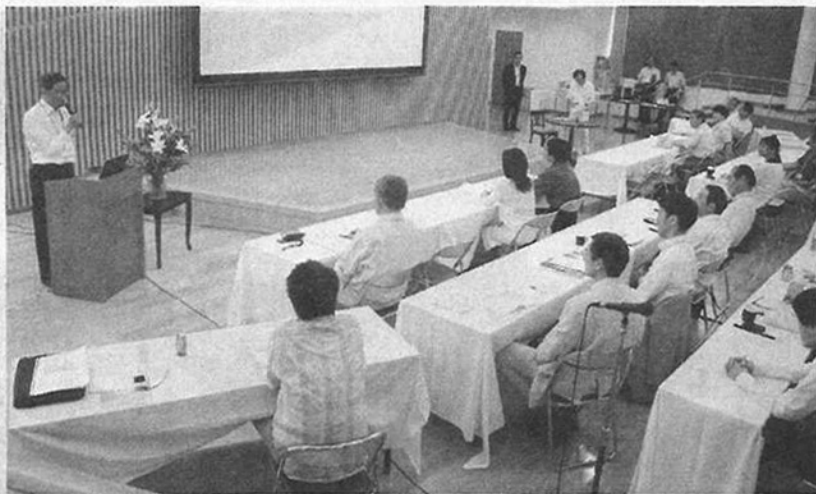


# 最先端のがん治療紹介

## 国内外の研究者ら発表

グランソール  
免疫研究所

発表。海外からの参加もあり、発表はすべて英語で行われている。  
松尾所長は「このフォーラムで基礎的研究が話し合われ、実際のがん免疫細胞療法に生かされれば」と話していた。



宇陀市菟田野区松井のグランソール免疫研究所（松尾良信所長）は二日、隣接するグランソール奈良で、免疫治療研究についてのフォーラムを開催した。国内外の研究者や医師ら約四十人が出席した。

同研究所は、菟田野区で病院などを経営する医療法人拓誠会の関連施設で、がんの免疫細胞治療研究などを目的に平成十七年六月に開設。独自の細胞培養法などを開発してきた。免疫治療は副作用を伴わずにがんの痛みを和らげることができるといふ。

国内外の研究者や医師が参加して行われたフォーラム二日、宇陀市菟田野区松井のグランソール奈良

フォーラムは二、三日の二日間の日程で、同研究所をはじめ東大や阪大などで行われている最先端の研究内容について各研究者らが